

賀茂通信 (かもめーる)

第7号 平成19年6月1日 発行

静岡県賀茂健康福祉センター
賀茂保健所
賀茂児童相談所
賀茂身体障害者更生相談所
賀茂知的障害者更生相談所

「高次脳機能障害」をご存知ですか？

「高次脳機能障害」とは、交通事故や脳梗塞、脳出血などが原因で脳の精密な情報処理（高次脳機能）がうまくいかなくなった状態のことです。誰でもなる可能性があります。今まであまり知られてきませんでした。また、事故や病気の前とすっかり人が変わってしまったかのように思えて、ご家族が悩んでいる場合も多いです。

＜主な症状＞

- ・ 記憶障害：新しいことが覚えられない。物の置き場所を忘れる。
- ・ 注意障害：ぼんやりしている。何かをするとミスばかりする。
- ・ 遂行機能障害：自分で計画を立てて物事を実行できない。
- ・ 社会的行動障害：感情や要求のコントロールができない。相手を思いやれない。
- ・ 病識の欠落：自分に障害があることを認識できず障害がないかのようにふるまったり言ったりする。
- ・ その他：人格の変化。目は見えるのに物や形や色の理解ができない。 など

脳外傷友の会「しずおか」について

高次脳機能障害をもつ方やそのご家族の集まりがあります。同じ悩みを話し合ったり、福祉制度を一緒に学んだり、障害について理解を求める働きかけを行っています。

連絡先：脳外傷友の会「しずおか」
TEL：054-622-7405（滝川方）



- ・ 賀茂健康福祉センターでは相談会の開催を予定しています。詳細は後日改めてお知らせします。

悩みは抱え込まずに、ぜひ、賀茂健康福祉センターや脳外傷友の会「しずおか」へご連絡ください。

保健福祉課：0558-24-2056、松崎保健支援室：0558-42-0262

食中毒の発生を予防しよう。

平成 18 年度静岡県内で発生した食中毒件数は 28 件、患者数は 894 人で、そのうち賀茂保健所管内で発生した食中毒は 2 件、患者数は 19 人でした。

食中毒の発生原因物質としては 28 件中 16 件が昨年冬期に全国的に流行したノロウイルスによる食中毒であり、患者数も 686 名にもなりました。

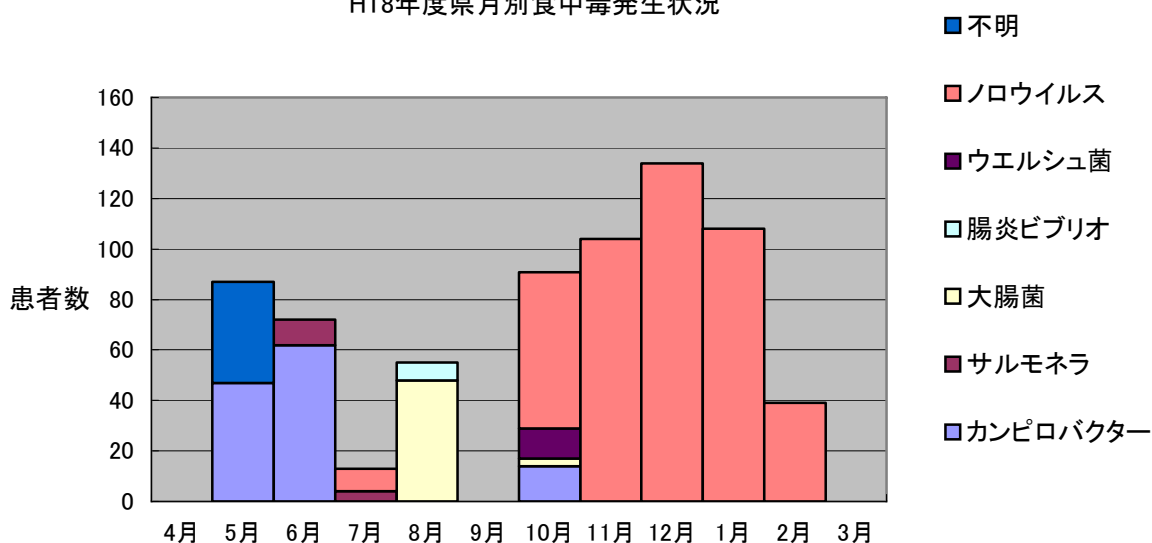
昨年度の月別発生状況では、下図のグラフどおり夏期だけではなく冬期の発生也多発していました。

このような食中毒の発生を防ぐためには、原因物質となる食中毒菌を「付けない」「増やさない」「殺す」の 3 原則が重要です。

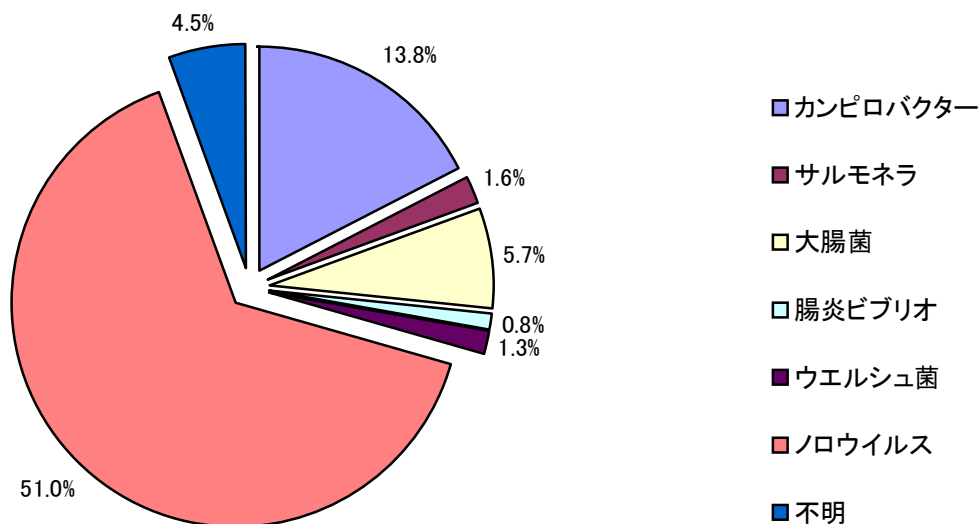
具体的には、「食品の調理・喫食の前に必ず手を洗い、清潔な食器や調理器具を使う。」「生鮮食品は新鮮な物を購入し、適切な温度で保存する。」「食品の加熱は十分に行い、包丁やまな板等も洗浄・消毒をする。」などが食中毒防止に重要なポイントになります。

食中毒防止の 3 原則に心掛け、食品の取扱いに十分注意して健康に毎日を過ごしましょう。

H18年度県月別食中毒発生状況



H18年度県原因別食中毒発生状況



— 静岡県食育推進計画を策定しました —

近年、県民の「食」を取り巻く環境が大きく変化し、人々のライフスタイルの多様化によって、家族で食事を囲む機会が減りつつあります。忙しい毎日を送る中で食事が不規則になるなど、食習慣の乱れが肥満や生活習慣病の増加につながっています。

このため、国は平成17年6月に「食育基本法」を制定し、平成18年3月には、食育の推進に関する「食育推進基本計画」を策定しました。

そこで、静岡県では、「食」についての意識を高めるとともに、連携して食育に取り組むために、平成19年3月に「静岡県食育推進計画」を策定しました。

毎年6月は

「食育月間」

毎月19日は

「食育の日」

静岡県食育推進計画の概要

○ 静岡県の食育の目指すもの

「食を通して人をはぐくむ」

○ 取組の重点

「0歳から始まるしずおかの食育」

○ 計画の期間

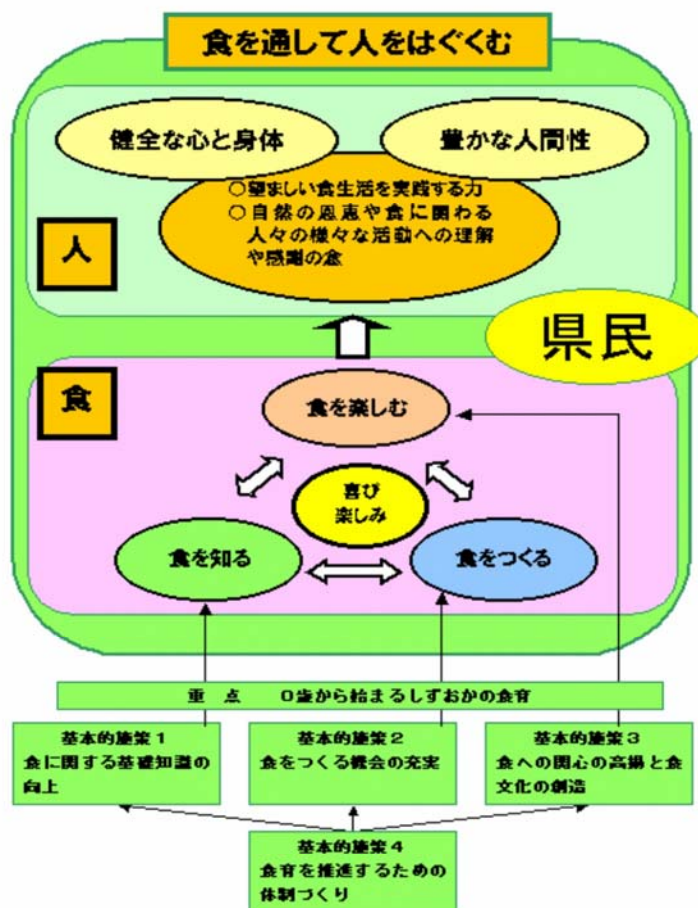
平成19年度から平成22年度までの4年間

○ 基本的施策

- 1 食に関する基礎知識の向上
- 2 食をつくる機会の充実
- 3 食への関心の高揚と食文化の創造
- 4 食育を推進するための体制づくり

○ 食育推進の目標（一部掲載）

- 1 食育に関心のある人の割合
(76%→90%以上)
- 2 肥満の児童の割合(2.7%→2.5%以下)
- 3 肥満(BMI25以上)の割合(30歳以上)
(男性25.6%→21%以下、
女性17.6%→14%以下)
- 4 自分の健康状態を「よい」「まあよい」
「ふつう」と思っている人の割合
(15歳以上)(83.3%→100%)
- 5 メタボリックシンドロームを認知している人の割合(52.1%→80%以上)



…目標の実現に向けて…

目標の実現に向けて、地域の様々な関係者が連携して食育に取り組み、県民運動として食育の輪を広げていきましょう。

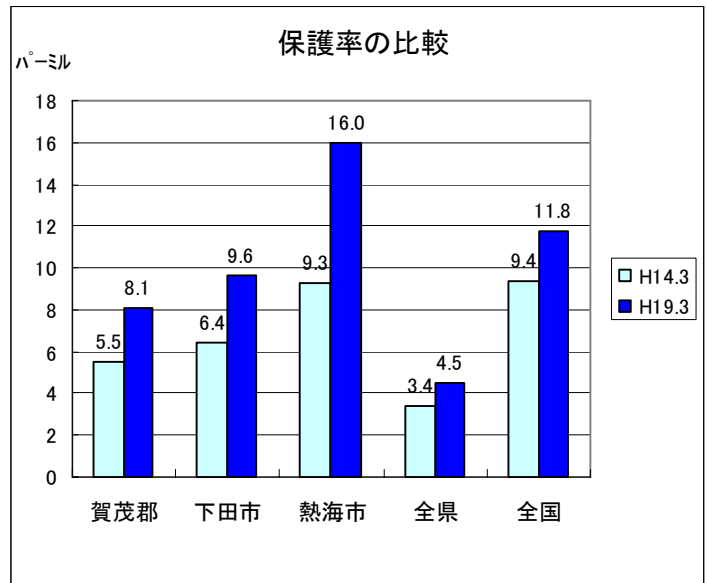
＜生活保護一口メモ＞

～増えつづける保護率～

保護率は、バブル崩壊後の約10年間全国的に上昇し続けています。

県内の保護率は、東部地区が高く西部地区が低い傾向にありますが、その中でも伊豆東部地区の高さが目立っており、最も高い熱海市と最も低い裾野市とでは20倍以上の差があります。

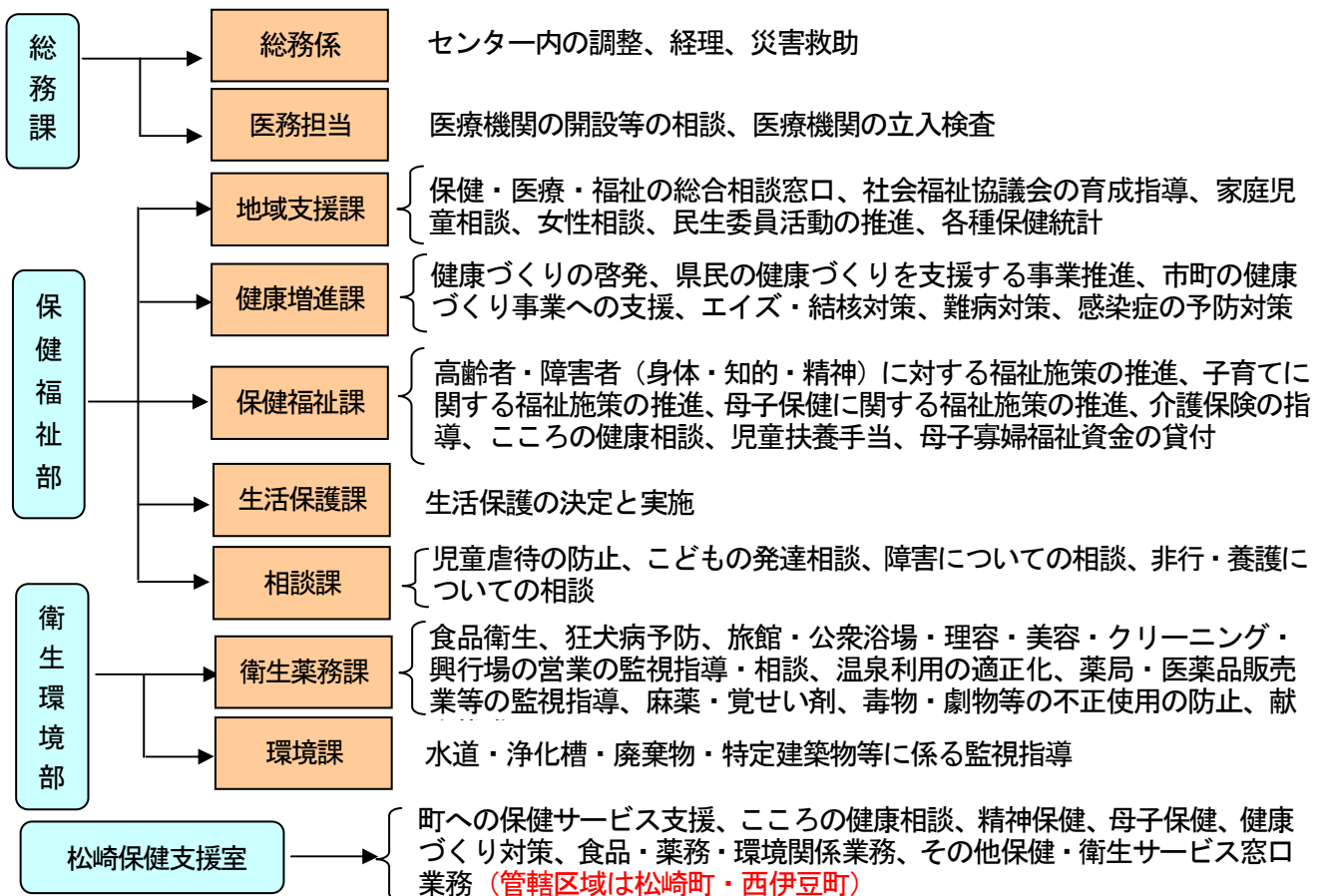
このような保護率の地域間の差は、地域ごとの失業率や高齢化などの進展状況、都市部での生活困窮者の増加などによるものと考えられており、伊豆東部地区の保護率が高いのは、基幹産業である観光の長期低迷が大きな要因と想定されています。



- (注) 1 保護率 (パーミル) は、人口千人に対する割合
 2 全国のH19年数値は18年9月(直近)の数値
 3 資料出所: 「福祉行政報告例」

賀茂健康福祉センターご案内

＜担当する事務＞



静岡県賀茂健康福祉センター

〒415-0016 下田市中 531-1(静岡県下田総合庁舎 4階・2階)

電話 0558-24-2032

ホームページ <http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-710/> (変更になりました)

松崎保健支援室 〒410-3624 賀茂郡松崎町江奈 255-3 電話 0558-42-0262

